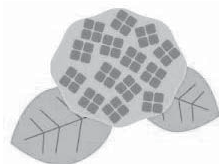




図書館・美術館の事業と予定



【図書館】

【図書館】 7月の予定（会場：南部図書館）

・乳幼児リトミック教室

7月3日（水） 午前10時30分～11時30分

講師：佐野貴子先生／長洞まゆ先生

・乳幼児お話し会 のんたんのへや

7月10・17・24日（水）

午前10時30分～11時30分

・わくわくお話し会

7月13日（土） 午後1時30分～2時30分

・図書館ボランティア たけのこ会

・夏休み映画会

7月23日（火） 午後2時～4時

初の実写映画 「ピーターラビット」

・夏休み親子木工教室

7月27日（土） 午前10時～12時

講師：南部町森林組合職員

（お問合せ ☎62-9292）

南部図書館 事務室までお願いします。

詳しい内容は後日チラシにてお知らせいたします。



【美術館】

「近藤喜則史料展示室」

平成31年3月末、美術館に「近藤喜則史料展示室」がオープンしました。甲府市にある山梨近代人物館においても「山梨の偉人50人」に取り上げられていることからその関心は徐々に高まり、県内から史料室の見学に訪れる方が多くなりました。数多くの文献資料の研究を重ね公開となった史料室をぜひ町民の皆様もご覧ください。 入場料は無料となります。



*チャレンジデー！小さくても頑張ったよ！

5月29日（水曜日）チャレンジデーの実施に伴い「親子3B体操」を実施しました。子どもたちは、なじみのある軽快なリズムに合わせ、日本3B体操協会公認指導士の飯島貴子先生と楽しく体を動かしました。



*第1回 図書館講座が実施されました。

図書館では5月28日（火曜日）に、山梨県森林総合研究所職員を講師に招き、「木質資源を利用したバイオマスエネルギーの可能性」についての講座を開催しました。参加者の皆様は熱心にメモを取られ、講義終了後には多数の方から質問も寄せられ有意義な講座となりました。



【話題本 紹介コーナー】

南部町本郷在住 浅井和昭氏

小説「酔芙蓉」についてお尋ねしました！

4月下旬から5月にかけて県内の売上ベストテンに急上昇した小説「酔芙蓉」は、以前広報でも紹介させていただきましたが、今回、浅井和昭先生ご本人から、出版までの様々なお話を伺うことができました。

愛媛県出身の浅井先生は現在南部町本郷にお住まいです。温暖でどこか郷里の愛媛県と重なる南部町で、現在小説家としての道を歩まれています。

浅井先生は以前、富士吉田市で会社を経営され、南部町にはその折、竹の子や栗拾いに訪れていたことから縁があり、在住となったそうです。昔から小説を書くことが好きで初版の「あやとり」（短編小説）を出版するまでに、百編以上の小説を書かれていました。内容の六編はその中から娘さんが選定。その後、短編集として出版に踏み切りました。

様々な境遇を持ちながら前向きに人生を歩む女性の細やかな心情を一本の糸で作り上げるあやとりの情理と重ねあわせた内容は、町内においても多くの方が手に取り読まれました。その後、短編から本格的に長編小説に挑戦され、精力的に執筆された第二弾として登場した「酔芙蓉」も、徐々に出版部数を上げ、現在第4刷となり更に注目を浴びています。

「酔芙蓉」に登場する主人公、幸子。結婚後、平穏な人生を歩もうとするものの様々な事情により生活は一変、変化していく日々の中で、人生にとって大切なものとは何か、小説を通し読者に伝えたい浅井先生の心情が映し出されます。

浅井先生は、出版を手掛ける傍ら各地を旅することを大変好まれます。小説「酔芙蓉」もこれまでの旅を通して出会えた人々や、風景などから湧き出る情感が小説の中に美しく生き生きと写し出されています。

そして、現在、第三弾としてまもなく長編小説が出版となります。時は戦国時代、武士としての生き方が浅井先生の感性で、どのような物語となって誕生するのか、今からとても楽しみです。後日また紹介をさせていただきます。



すいふよう

* 酔芙蓉の花 ↓ 朝咲き始めた白い花は時間の経過とともに色変わりし夕方にはピンクになる。可憐な一日花であるが長期に渡り次々と開化する花。（六月〜九月頃）

* 「あやとり」二〇〇六年 九月 初版第一刷
* 「酔芙蓉」二〇一八年一〇月 初版第一刷

（現在 第四刷）

* 浅井先生のご厚意で現在三冊を貸出しております。貸出中の場合はご予約をお願いいたします。

●主な小説（新刊）

- | | | |
|--------------|----------------|--------|
| ・金剛の塔 | 木下昌輝 | 徳間書店 |
| ・百花 | 川村元気 | 文藝春秋 |
| ・椿宿の辺りに | 梨木香歩 | 朝日新聞出版 |
| ・暁天の星 | 葉室 麟 | PHP研究所 |
| ・或るエジプト十字架の謎 | 柄刀一 | 光文社 |
| ・刑事の慟哭 | 下村敦史 | 双葉社 |
| ・皇后雅子 | 石井勲 | 講談社 |
| ・中川季枝子 | 本と子どもが教えてくれたこと | 平凡社 |

話題本



海竜社

「大切なことは時を経ても変わらない」吉沢久子 著
小さな幸せを集めて、人生を豊かに。101歳で天寿を全うした著者の生活哲学を伝える。「98歳。心して「一人」を楽しく生きる」「今日をいっしょうけんめいで生きる」「老い方上手の楽しい台所」から抜粋して再編集。